



はちのす

木戸小学校学校だより

令和8年3月16日

No.289

雪椿（ユキツバキ）に学ぶ ーしなやかな強さー

校長 長谷川 嘉彦

私の故郷は、雪椿（ユキツバキ）が自生していることで知られる山間の地域です。雪解けが始まるこの季節になると、故郷の山々に咲くあの深く鮮やかな赤色の花を思い出します。

日本海側の山間積雪地域のみ分布する雪椿は、その名前から寒さに強い印象を受けますが、実際は、椿の中でも寒さや乾燥に弱い種類とされています。そのため、雪椿の枝はしなやかで折れにくく、日本海側の湿った重い雪が枝に積もっても、根元から柔らかく曲がって地面と雪の間に倒れて冬を越します。これにより、雪と地面の間の適度な環境（0℃以下にならず、湿度が保たれている環境）で寒さや乾燥から身を守り、雪解けとともに再び枝を起こして花を咲かせます。雪の重みを真っ向から跳ね返すのではなく、しなやかに受け流し、じっと静かに春を待っているというわけなのです。

この「雪の下で耐える時間」こそが、雪椿の強さの源とも言えます。重い雪の下で、雪椿は来るべき開花のためにエネルギーを蓄えているのです。

子どもたちの成長も、これに似ているところがあると感じることがあります。難しい問題が解けずにあきらめたくなることや友達との関係に悩むこと、思い通りにいかず悔し涙を流すこと…それらは、子どもにとって「雪の重み」のようなものだと考えると、この思い悩むときこそ、実は子どもが「心の根」を深く、広く伸ばしている貴重な時間だと捉えることができます。雪椿が雪の下で春を信じていたように、子どもたちもまた、困難の中で自問自答し、内面のしなやかさを養っています。これまで子ども自身が葛藤してきたことの一つ一つが、やがて来る開花のための大切な「栄養」となっていると思うのです。

春になり、雪が解け始めると、雪椿の枝はむくむくと起き上がります。そして、長い冬を耐え抜いたからこそ放てる生命力に満ちた赤い花を咲かせます。木戸小の子どもたちも、この一年間で確かな変容を見せてくれました。4月の頃はまだ少し不安げな表情を見せていましたが、今では自信に満ちた顔つきで下級生をリードしたり、難しい課題に粘り強く取り組んだりする姿が見られます。行事で見せた団結力、日々の授業で見せた真剣な眼差し、休み時間に響く屈託のない笑い声と、それらすべてが雪の重みを跳ね返して立ち上がった雪椿のように力強く輝いています。

保護者の皆様、地域の皆様からは、この一年間、木戸小の教育活動に温かいご理解と多大なるご支援を賜りました。心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。子どもたちが、それぞれの場所で自分らしい鮮やかな花を咲かせることができるよう、教職員一同、これからも一人一人に寄り添い、その背中を後押ししていきたいと思ひます。

春の光が差し込む教室で、子どもたちの笑顔が輝いています。

来年度も、どうぞ変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、
よろしくお願いいたします。



6年生ありがとう集会

3月4日（水）に「6年生ありがとう集会」が行われました。体育館に全校児童が木戸っ子班ごとに集まり、開催しました。5年生が中心となって企画・運営をし、それぞれの学年が工夫を凝らして準備を進めました。

会の中では、1～5年生が心を込めて製作したプレゼントの贈呈が行われました。ありがとうのメッセージを受け取り嬉しそうな6年生と、拍手をしながら様子を見る在校生の姿に、木戸っ子の絆が感じられました。6年生は1～5年生に対して、集会を開いてくれたお礼と、これからの応援を込めて、合唱と合奏を披露してくれました。

一人一人の6年生に対する感謝の気持ちが感じられる、とても温かな時間となりました。

～運営した5年生の振り返り～

6年生ありがとう集会で学んだこと

5年1組 K・Wさん

今回のありがとう集会は、インフルエンザの流行で、1週間の延期となりました。そのため、練習をする時間を増やしたり、くす玉の修理をしたりして、よりよい会になるように準備をしました。

この会を通して、「どんなことでもチャンスに変えられる」ということを学びました。これからも、しっかりと計画や準備をして、最高学年として責任をもって行動していきたいです。

6年生ありがとう集会を終えて

5年2組 S・Tさん

ぼくは、6年生ありがとう集会の実行委員長を務めました。ありがとう集会を通して、男女問わず5年生全員で協力することができました。そして、6年生の笑顔をたくさん見ることができました。きっと、私たちの「感謝の気持ち」が伝わったと思います。

来年度の学校行事も、6年生として、みんなで協力して全校をまとめていきたいです。



1年間を振り返って・・・

1年かんをふりかえって

1ねん1くみ K・Mさん

わたしが、1年生になってできるようになったことを2つしょうかいします。1つ目は、けいさんです。さいしょは、たしざんやひきざんはしらなかつたけど、わかるようになりました。2つ目は、なわとびです。さいしょは、まえとびが25かいしかとべなかつたけど、れんしゅうしたら70かいもつづけてとべるようになりました。

2年生になったら、もっとちがうこともべんきょうしたいです。

2年生になってできるようになったこと

2年3組 E・Tさん

ぼくが、できるようになったことは、かけ算です。さいしょは、九九をとなえるれんしゅうをしました。五のだんと二のだんがかんたんにおぼえられました。三のだんからおぼえられませんでした。自しゅ学しゅうや九九の歌を聞いて、れんしゅうしました。はやく正しく言えるようになって、ぜんぶ九九が言えたときは、とてもうれしかったです。

3年生になったら、むずかしい計算や文しょう問だいにチャレンジしたいと思います。

自主学習

3年2組 N・Rさん

わたしは、3年生になったころ、自主学習はあまりしていませんでした。9月くらいにわからないことを調べてみたら、よくわかってすごくおもしろかったです。そのころから、自主学習をすることが楽しくなりました。だから、テストの前も自主学習をするようになりました。1月に算数の予習をしたら、次の日の勉強がスラスラわかるようになりました。3年生になって自主学習をすると、「みんながわからないことがわかる」ということを知りました。

努力は大事です

4年2組 T・T

ぼくの1年間を振り返ってがんばったことは、水泳です。ぼくはいつも練習をしていたのですが、なかなかベストタイムが出ませんでした。そこで新しいトレーニングをしたり体力作りに力を入れたりしました。そしてコーチからアドバイスをもらいながら、努力して大会へと歩いていきました。練習を重ねていったことで最近では、少しずつベストタイムが出るようになりました。これからも、もっと速いタイムが出るように努力し続けます。

成長を感じた1年間

5年1組 H・M

私の1年間は、「成長」の1年間でした。理由は3つあります。

1つ目は、自然体験教室です。カレーを作ったり、キャンドルファイヤーを囲んでマイムマイムを踊ったりして、とても楽しく学びのある2日間でした。

2つ目は、木戸っ子祭りです。お客さんを楽しませるために、クラスで様々なことを話し合い、力を合わせ成功させたからです。

3つ目は、6年生ありがとう集会です。学年みんなで6年生を笑顔にしたいと思いながら、心をひとつに練習をしました。

このように、私の1年間はとても楽しく、とても成長を感じられる1年間でした。

小学校で最初で最後の修学旅行

6年2組 K・H

修学旅行で、私は、たくさん楽しみました。

その中で一番楽しかったことは、ホテルでの出来事です。一緒に泊まる人たちが決まったときは、楽しく過ごせるかなと心配でしたが、部屋で、トランプをしたり話をしたりして過ごしていると、このみんなと一緒に部屋で過ごせてよかったなと思いました。

このみんなともう一回修学旅行に行きたいなと思える良い思い出になりました。小学校生活で最初で最後の修学旅行は最高でした。